

低温に対する農作物被害防止対策

令和5(2023)年1月19日

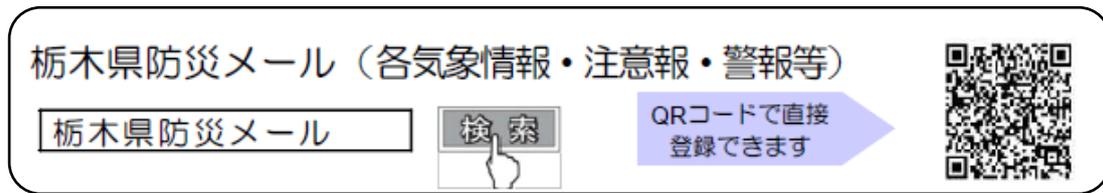
JA はが野・芳賀農業振興事務所

気象庁 1月19日17時発表の天気予報によると、24日頃から最低気温が低下すると予想されています。更に25日は県南の最低気温が -6°C の予想となっており、それ以下に下がる可能性がありますので、事前の対策をお願いします。

I 事前対策

1 情報収集

(1) テレビ・ラジオ、気象庁ホームページ、栃木県防災メール等で幅広く情報収集を行なう。



2 暖房機等の準備

- (1) 燃料の残量を確認する。
- (2) 暖房機の保守点検を行い、正常作動を確認する。
- (3) 温度センサーを点検する。
- (4) 送風ダクトを配置し、循環扇を利用する。

II 低温時の対策

1 ハウス

- (1) ハウス各部の損傷や緩み等を点検し、気密性を高める。
- (2) 制御装置の設定と正常作動を確認する。
- (3) ハウスサイドやカーテン裾を隙間無く確実に閉める。

2 野菜（いちご 関連）

- ア ハウスは夕方早めに閉め、ハウス内の保温に努める。
- イ ウォーターカーテンハウスでは、夕方の稼働開始時間を早め、また、朝の稼働終了時間を延長し、温度の確保及び凍結防止に努める。
- ウ ハウスのサイドビニールが凍結している場合は、換気時に無理な力がかかり、モーターやビニールの破損につながる可能性があるため、早急に氷凍結部分を除去してから換気を行う。
- エ 循環扇が導入されているハウスは、ハウス密閉時に稼働させ空気の流れを作る。
- オ ハウス内が多湿になると灰色かび病、菌核病が発生しやすくなるため、適宜古葉を摘除するとともに、病害予防のため殺菌剤を散布する。



以上